

堀松庄 富木院 藤懸郷

熊野方郷 鈍打郷

鹿島郡 良川院 浅井庄 金丸保

長澤保 久江保 小田中保

高島庄 四柳保 酒井保

大町保 一背庄 高田保

三階良川保 吉田保 三引保

豊田保 笠師保 北三郷内

北三郷内 南三郷 中山郷

崎山澤野郷 萬行保 奥原保

石動山院内 八田郷 飯川保

江曾郷 能登島庄

熊木院 阿岸郷 櫛比庄

鳳至郡 仁岸郷 南北郷 七浦庄

本郷 大屋庄 穴水郷内 河原田郷

三井郷 山田郷 諸橋郷

上町野郷 中町野郷 下町野郷

南志見郷

珠洲郡 西海郷 若山庄 木郎郷

直郷 飯田郷 正院郷

三崎郷

コウシヨウイン 光照院 長連頼の女にして前田利常に養はれた某姫の法號。

コウシヨウコウ 郷庄考 二册。天保六年五十嵐篤好著。上巻は郷庄保の名義・起因を論じ、下巻は加賀藩領内十二郡の郷庄・厨村・驛宿の名を擧げ、古郷庄の今絶えたものをも載せてある。

コウシヨウジ 廣昌寺 金澤爲町に在つて、幽玄山と號し、曹洞宗に屬する。貞享二年の書上に、慶安二年林道が鹽屋町に建立し、寛文十年命により寺地を今の所に移したとある。

コウシヨウジ 廣昌寺 金澤爲町に在つて、幽玄山と號し、曹洞宗に屬する。貞享二年の書上に、慶安二年林道が鹽屋町に建立し、寛文十年命により寺地を今の所に移したとある。

コウシヨウジ 廣勝寺 河北郡御門に在つて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウジ 廣照寺 鳳至郡定廣に在つて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウジ 光照寺 羽咋郡杉野屋に在つて、眞宗西派に屬する。

コウシヨウジ 光照寺 羽咋郡上田に在つて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウジ 光照寺 珠洲郡正院に在つて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウジ 光稱寺 鹿島郡黒崎に在つて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウジ 高照寺 珠洲郡寺社にあつて、眞言宗に屬する。貞享の書上に、『當寺開基者願圖上人、天喜元年草創之地、七堂伽藍之所。鎮守者一宮權現靈之神、社頭並坊舎數多有之、寺社領田八町附來。當寺先代者、能州奥兩郡眞言一宗之僧侶令集會、灌頂並法談之地に而有之に付、談議所共號申候。』と見え、能登名跡志には、『高照寺といつて密宗あり。昔は行基菩薩の開基にて、七堂伽藍の大寺也。今も作佛多し。門前の田の中に白比丘の餉の箸をさして生へしと云て、杉の大木あり。枝葉異なる木也。能登の一本杉といへり。』とある。

コウシヨウジ 高勝寺 珠洲郡須須神社の別當で高座山と號し、寛弘元年良證の草創といひ、不動明王を本尊とした。能登名跡志に、『別當高勝寺は天台宗にて、講堂・觀音堂・阿彌陀堂・鐘樓・客殿・庫裏立並びて、奥郡の大寺也。』と見える。明治元年神佛混淆禁止の後、住職は復飾して高山勝貞と稱し、高勝寺

の號を廢したが、八年檀徒出願して金澤野田寺町翠雲寺をその跡に移した。

コウシヨウジ 興淨寺 石川郡上福増の内にある地名で、古へこゝに同名の寺があつたといひ、その屋敷跡は今田地となつてゐる。

コウシヨウジ 壽壽寺 江沼郡大聖寺町法華坊にあつて、眞宗東派に屬する。

コウシヨウワケムラツケチヨウ 郷庄分村附帳 ↓サンシユウゴウシヨウワケムラツケチヨウ 三州郷庄分村附帳。

コウシンカガミジユウイチヤアダウチ 孝信鑑十一屋仇討 ↓カガハブタへ 加賀羽二重。

コウシンカン 鈞深館 加賀藩の壯猶館では航海・測量等の學術をも講じたが、文久二年に至り、長州の戸倉伴八郎を聘して、藩士大坪岩次郎(後世慎)・河越良輔(初め内山霞太郎)又は角良輔と共に教授の任に當らしめ、又同年以後連りに艦船を購入したが、藩は之を操縦せしめる爲、自ら機關手等の養成を要することとなり、明治二年志願者を募集してその學校を鈞深館と稱した。本館は、後に西町軍艦所内に移轉し、遂に變じて洋算専門の研究所となつたが、その廢止せられた年月は詳かでない。

コウシンキコウ 甲辰紀行 有澤貞幹の著。江戸から金澤に至る紀行で、甲辰は天明四年であらう。この文往々誤つて木下貞幹の作とせられるが、寶永年間富士山噴火のことを記してあるから、元祿十一年に歿した順庵貞幹と交渉せざることを明らかである。

コウシンジ 仰信寺 羽咋郡柳瀬川に在つて、眞宗東派に屬する。明治七年八月同郡新保から今の所に移つた。

コウシンソウ 畷心莊 加賀藩の老臣奥村厩禮の別墅であつた。その地は延寶の金澤圖に奥村因幡下邸の綴きに奥村因幡請地と記した所なるべく、石川郡田井の村地で淺野川に近い。寛文十二年に成つた林鷲峰の畷心莊記がある。

コウシンツカ 庚申塚 金澤卯辰山に在つた。天正中越前の朝倉義景が歿した時、その家士堀左近正之は織田信長の軍に捕へられて尾州に入獄した。時に左近の母は、義景の鎮守齋面金剛尊に祈念した爲であつたか、庚申の夜數正の猿が來て獄舎を破り、左近を脱出せしめた。左近後剃髮して萬藏坊と稱し、かの齋面金剛尊を齋して加賀に立越え、茶臼山に堂宇を建て、之を祀り、それを庚申堂といふたと傳へる。この庚申堂は城中からの目障りとなるを以て、元和二年三間道に移つたが、卯辰山の遺地には永く庚申塚の名を傳へた。

コウシンドウ 庚申堂 金澤馬場にあつて、圓融寺の庚申堂とも帝釋天ともいひ、有名なものであつた。信仰者は小籠を携へ來り、之を備へて祈禱するに靈驗著明であるといはれた。その由緒は火災に罹つて明らかでない。

コウジンバナ 荒神鼻 鹿島郡能登島の東南にあつて、小口瀬戸の西端に突出する。荒神鼻の東方には日出島、西方には二穴の灣がある。地圖には荒神鼻を小泉崎として居る。

コウシンマチ 庚申待 藩政の頃庚申の當夜寝ねずして徹夜することで、佛家では齋面金剛尊を祀り、神道では猿田彦を祀るのであ